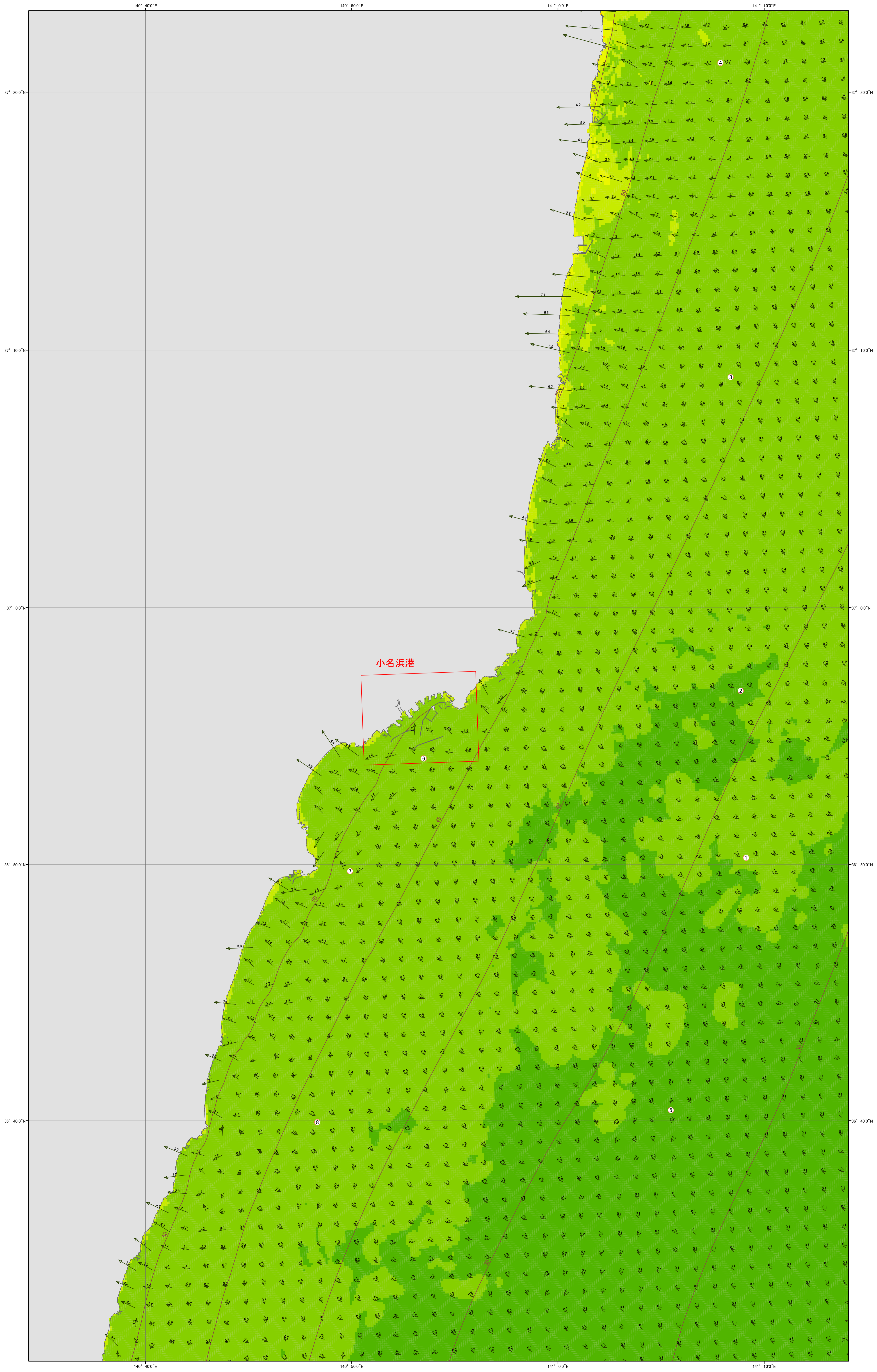


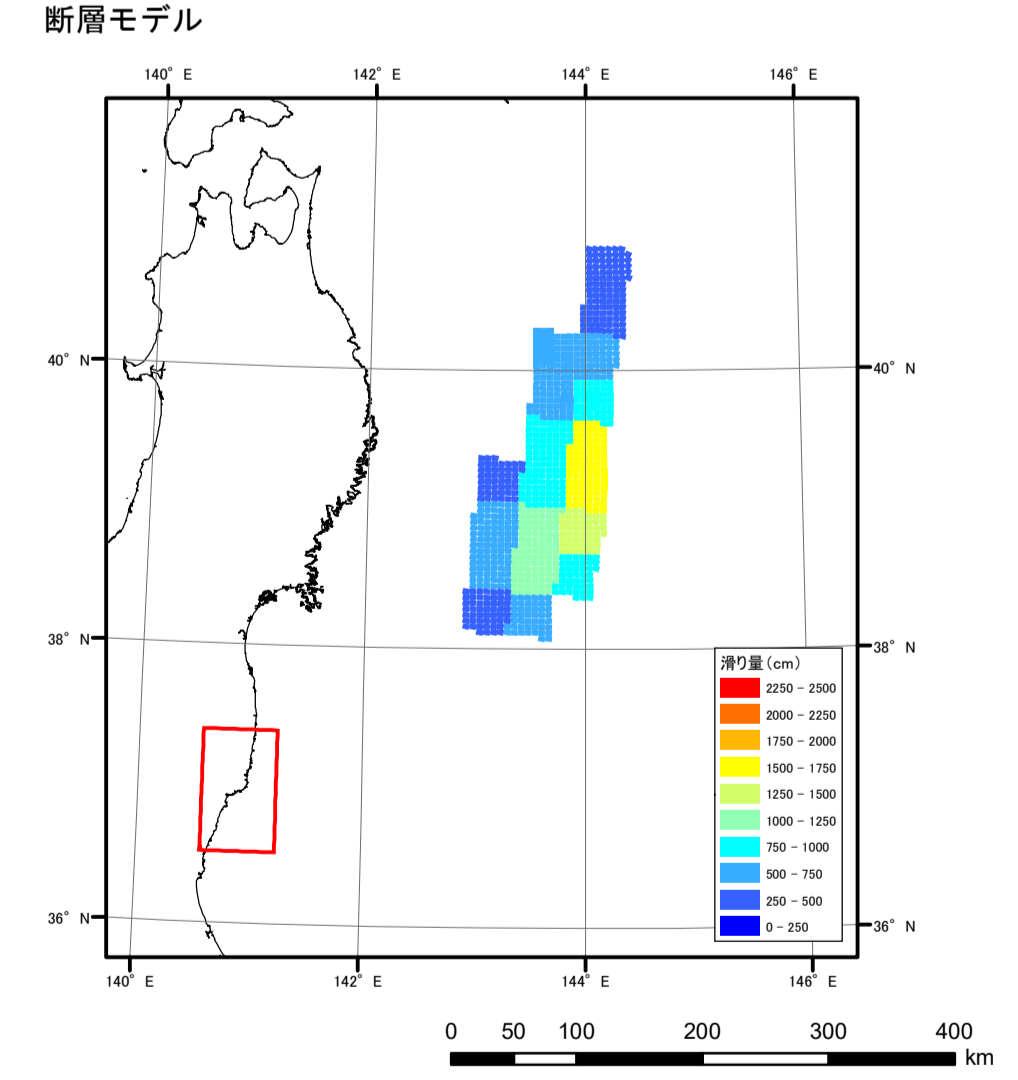
計算条件：最高水面（零位）  
 隆起量：平均 -0.01m  
 Zo：0.84m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



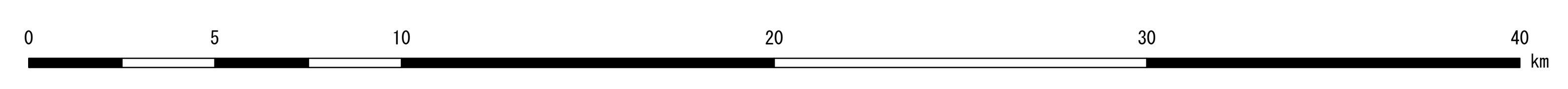
### 凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
  - 5m~
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
- 経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- (例) 水位・流向・流速経時変化図
- 進入時最大流 (knot)
  - 3 knot
  - 2 knot
  - 1 knot
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。
- 流向、流速については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。



明治三陸地震  
 モーメントマグニチュード **Mw** 8.6

本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ